

授業科目 助産診断・技術学 III

【担当教員名】		対象学年	4	対象学科	看護（助産師コースのみ必修選択）
下山 博子 他		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	30
		【ディプロマポリシーとの関連性】			
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：GI0】					
分娩期における産婦と胎児、新生児およびその家族の経過と健康に関する助産診断・技術について学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1 産婦と胎児、新生児およびその家族の身体的・心理的・社会的状態に関する助産診断について説明できる。 2 産婦と胎児、新生児およびその家族の身体的・心理的・社会的状態に関する助産診断に基づいた助産技術を説明できる。 3 正常経過を逸脱した産婦と胎児、新生児およびその家族に関する助産診断について説明できる。 4 分娩期の援助技術を実施できる。 5 分娩期における助産師としての役割・態度について考察する。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	分娩期の助産診断・技術（1）	1～3	講義、担当：下山 博子		
2	分娩期の助産診断・技術（2）	1～3	講義、担当：下山 博子		
3	分娩期の助産診断・技術（3）	1～3	講義・ディスカッション、担当：下山 博子		
4	分娩期の助産診断・技術（4）	1～3	講義・ディスカッション、担当：下山 博子		
5	分娩期の援助技術（1）	1～3	講義、担当：下山 博子		
6	分娩期の援助技術（2）	1～4	デモンストレーション、演習、担当：下山 博子 他		
7	分娩期の援助技術（3）	1～4	演習、担当：下山 博子 他		
8	分娩期の援助技術（4）	1～4	演習、担当：下山 博子 他		
9	分娩期の援助技術（5）	1～4	演習、担当：下山 博子 他		
10	分娩期の援助技術（6）	1～4	演習、担当：下山 博子 他		
11	分娩期の援助技術（7）	1～4	演習、担当：下山 博子 他		
12	分娩期の援助技術（8）	1～4	演習、担当：下山 博子 他		
13	分娩期の援助技術（9）	1～4	演習、担当：下山 博子 他		
14	分娩期の援助技術（10）	1～4	演習、担当：下山 博子 他		
15	まとめ	5	担当：下山 博子 他		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	助産師基礎教育テキスト 第5巻 分娩期の診断とケア	町浦美智子 他	日本看護協会出版会	2013・3,600円＋税	
	助産師基礎教育テキスト 第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア	遠藤俊子	日本看護協会出版会	2013・4,500円＋税	
参考書	助産学講座7 助産診断・技術学II [2] 分娩期・産褥期	我部山キヨ子、武谷雄二 他	医学書院	2013・4,800円＋税	
	実践マタニティ診断	日本助産診断・実践研究会 他	医学書院	2007・3,800円＋税	
	今日の助産 マタニティサイクルの助産診断・実践過程	北川真理子、内山和美、生田克夫	南江堂	2013・8,800円＋税	
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
筆記・技術試験 70%程度 レポートおよび演習における態度 30%程度		リプロダクティブヘルスケア演習Ⅰ・Ⅱ、母性看護学実習で履修した内容は十分理解したものととして授業を進行します。分娩期の助産診断に必要な知識・技術・態度を統合し、演習において実践能力を高めていくことを目指します。 分娩助産技術習得にむけた演習では、自己トレーニングの時間が必要となります。 課題意識をもって主体的に学習し、分娩期における助産師としての役割・態度について考察を深めること。			